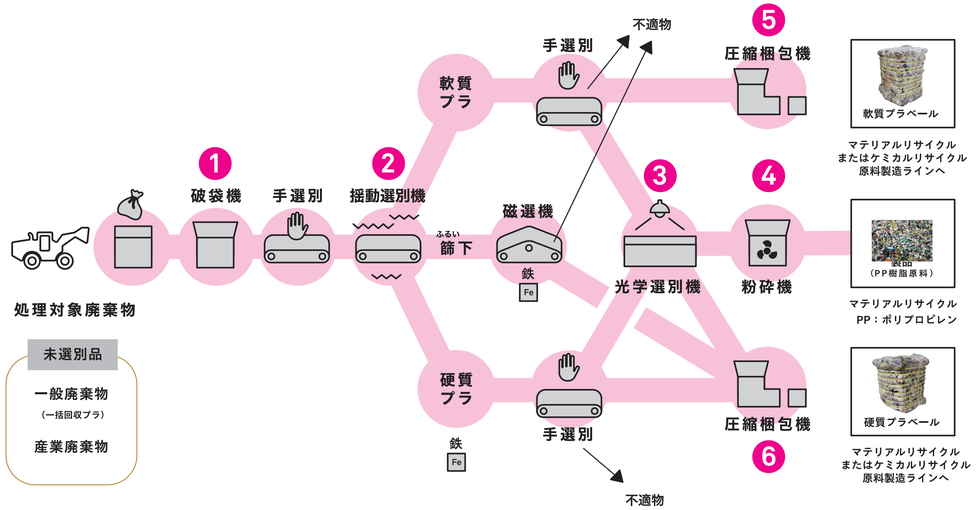
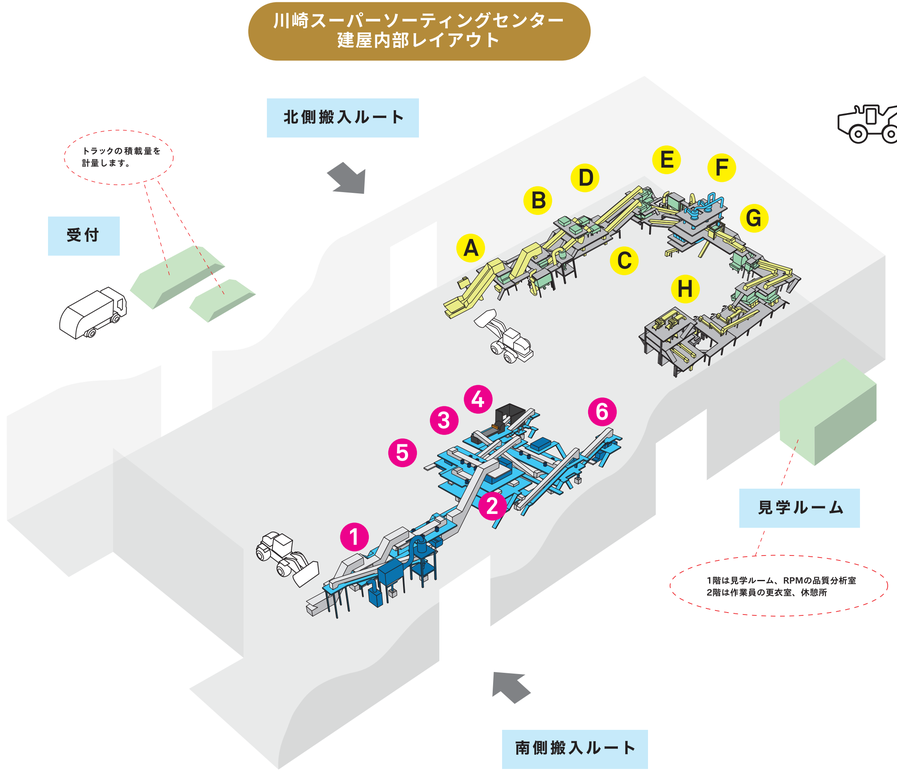
高度選別ライン

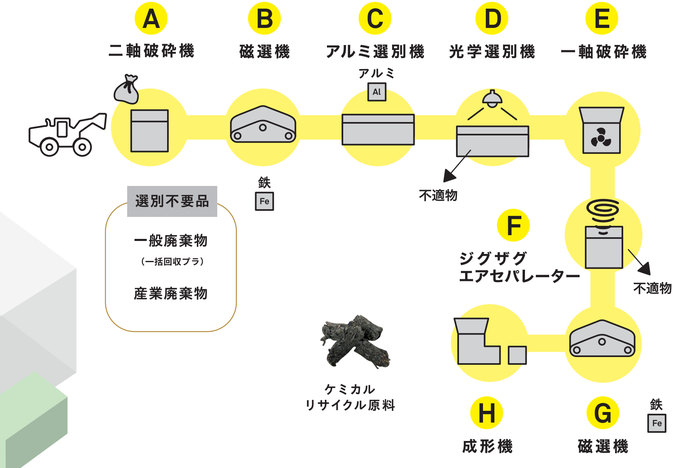
高度選別ラインは、まず破袋機で収集物を開封し、内容物を解放します。続いて、バリスティックセパレーター（揺動選別機）により、形状や比重の違いを利用して硬質プラと軟質プラに分別します。その後、光学選別機により、プラスチックの種類（主にPP）を自動的に識別・選別します。さらに、これらの機械による自動選別を補完するため、手選別工程を設けてリサイクル原料としての品質を確保することで、資源の無駄を減らし、環境への負荷軽減にも寄与します。

選別された使用済プラスチックの一部は、ケミカルリサイクル原料製造ラインへと送られます。



川崎スーパーソーティングセンター 建屋内部レイアウト





ケミカルリサイクル原料製造ライン

ケミカルリサイクル原料製造ラインは、使用済プラスチックを化学原料として再利用するための前処理システムです。
処理工程では、まず二軸破砕機で使用済プラスチックを粗破砕し、続いて磁選機で鉄類を、アルミ選別機でアルミ類を、光学選別機で不適物を除去します。その後、一軸破砕機でさらに細かく粉砕し、ジグザグエアセパレーター（風力選別機）で重量異物を取り除きます。最後に成形機で一定サイズに成形することで、ケミカルリサイクルに適した原料が製造されます。
この工程で製造された原料は、決められた品質基準を満たすことで、ケミカルリサイクル施設での原料化処理に適した状態となります。これにより、プラスチックを化学的に分解し、新たな化学原料として再生することが可能となり、より高度な資源循環の実現に貢献しています。